

《神戸まちづくり研究所これまでの事業》

○ 調査・研究・研修・政策提言

研究者・行政職員等研修
グラスパーキング推進業務
ユニバーサル社会づくり推進地区検証事業委託業務
NPO共同事務所整備によるコミュニティ活性化拠点づくり調査
神戸市生涯学習基本計画に関するアンケート調査
住民による防災まちづくりに向けた調査
明舞団地マンション再生アイデアコンペ
宮本吾妻地区住民意識調査
地域活動推進講座事業
海外まちづくり専門家との交流

○ 市民活動及びまちづくりの支援事業

コレクティブオフィス事業
地域再生プラットフォーム形成事業
NPO 育成アドバイザー派遣事業
神戸市小規模作業所等事業サポーター制度
東日本大震災ひょうごまちづくり専門家派遣事業
等による東日本被災地支援事業
NPO 等の相談業務
兵庫まちづくりプラットフォーム形成事業
神戸市と NPO 等の基本フレームにかかる業務
生活復興のための NPO 支援活動事業

○ まちづくり及び地域再生のために必要な事業

修学旅行受け入れ事業
明舞団地活性化事業
地域拠点運営支援事業
新たな生活様式実現を柱とする多自然居住推進事業
三ノ宮駅周辺公共交通乗継円滑化事業
住民主体の地域交通再構築プロジェクト事業
神戸市 IT 講習会（コムスタこうべ会場）業務
地域活性化のためのパソコン教室

○ その他の事業

まち研ニュースの発行

○ 財政規模（2013 年度決算）

総収益約 1,604 万円、内事業収益約 1,309 万円

○ 事務局体制

事務局長 1 名、常勤事務局 2 名

《神戸復興塾これまでの事業》

公開講座、勉強会・座談会、災害公営住宅入居者交流事業、こうべ i ウォーク、サンフランシスコ NPO 視察ツアー、ポートランド・シアトル NPO 視察、日中交流・復興クルーズ、ラジオ関西「おむすび ほっかほか訪問」企画協力、神戸復興塾 3.11 支援集会、復興塾通信の発行

《神戸まちづくり研究所理事・監事（敬称略）》

○ 理事長 小林 郁雄（阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター上級研究員）

○ 副理事長 山地 久美子（大阪府立大学客員研究員）

○ 理事

野崎 隆一（事務局長／㈱遊空間工房代表取締役）
大津 俊雄（神戸国際大学教授）
川中 大輔（NPO 法人シチズンシップ共育企画代表）
田村 太郎（一般財団法人ダイバーシティ研究所代表）
野崎 瑠美（一級建築事務所㈱遊空間工房管理建築士）
萩原 正五郎（萩原 都市・建築 計画事務所所長）
松原 永季（㈱スタヂオ・カタリスト代表取締役）

○ 監事

相川 康子（NPO 法人 NPO 政策研究所専務理事）
垂水 英司（東アジアまちづくり研究会代表）

○ 正会員（役員以外）

浅見雅之 飯田美奈子 磯辺康子 上田耕蔵 黒田裕子
小森星児 島田誠 菅磨志保 辻信一 藤井英映 三谷真
室崎益輝 森栗茂一 山口一史 山室良徳

○ 事務局 川村憲之 東末真紀

《神戸復興塾（敬称略、*は故人）》

○ 顧問

一番ヶ瀬康子 伊藤滋 清成忠男 新野幸次郎 米山俊直*

○ 応援団

青池憲司 天川佳美 ウーリッヒ・トールマン 内田雄造* 浦野正樹
延藤安弘 岡島醇 川端直志 北原啓司 熊谷博子 篠田正浩
関沢英彦 高見沢邦郎 高見沢実 中林一樹 成田孝三 林泰義
広原盛明 森反章夫 山田勝巳 山本俊哉 吉岡忍 吉富志津代

○ 塾生

相川康子 飯田美奈子 石東直子 磯辺康子 上田耕蔵 慈憲一
浦上忠文 大津俊雄 黒田裕子 小林郁雄 小森星児 実吉威 島田誠
菅磨志保 田村太郎 垂水英司 辻信一 中島克元 永松伸吾 西修
野崎隆一 野崎瑠美 萩原正五郎 藤井英映 フンク・カロリン
松原永季 松本誠 三谷真 村尾佳美 村上忠孝 室崎益輝 森栗茂一
山口一史 山地久美子 山田和生 山室良徳

特定非営利活動法人神戸まちづくり研究所

〒651-0076 神戸市中央区吾妻通 4 丁目 1 番 6 号

神戸市生涯学習支援センター北棟 3 階

TEL : 078-230-8511 FAX : 078-230-8512

E-mail = LET07723@nifty.ne.jp

Homepage = <http://www.kobe-machiken.org/>

平成 12 年 3 月兵庫県認証 1-41 号

特定非営利活動法人

神戸まちづくり研究所

☆:~:~:~ ☆:~:~:~ ☆:~:~:~ ☆:~:~:~ ☆:~:~:~ ☆:~:~:~



会員募集中

詳しい事は事務局におたずねください。

☆:~:~:~ ☆:~:~:~ ☆:~:~:~ ☆:~:~:~ ☆:~:~:~ ☆:~:~:~

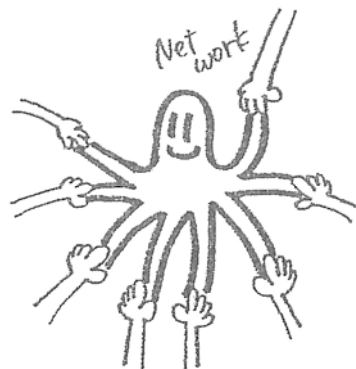


政策提言します

神戸まちづくり研究所
設立趣旨

神戸まちづくり研究所の設立母体である神戸復興塾は、誰も手がけていない事業に積極的に取り組むことを旗印に様々な分野でパイオニアとしての役割を果たしてきた。その強みは多彩で柔軟な人的ネットワークにあり、特定の目標達成のため短期間にエネルギーを集中する能力は極めて高いが、反面、他に本業を持つ専門家の同志的集団という特質から長期的な課題への取り組みは組織的にも対応が困難であった。

神戸まちづくり研究所は神戸復興塾が培った人的資源とネットワークのコアとしての機能を生かしつつ計画的、持続的に復興まちづくりに取り組む。この研究所の設立趣旨に賛同する個人及び団体に広く参加を呼びかけ、地域に根ざした独立独歩のシンクタンクとして役割を果たしたい。



ネットワークします

いま「まちづくり」を問う

震災で多くのものが失われたが、公共が関連するインフラはいち早く復旧し、個人の領分でも曲りなりに再建が進んでいる。しかし、集団として失ったものを回復するという視点は見落とされがちであった。まちづくりが、そのひとつの例である。現代都市の生活世界は無数の、ひとつひとつは取るに足らない結びつきで成り立っている。しかし、長年にわたる淘汰の過程でこれらのネットワークは洗練され、一本一本は弱い絹糸が撚り合わされて強い織物を作るように、安心して永住できる生き生きとした環境を提供してきた。

今回の震災は、この結びつきを文字通りずたずたに切り裂いた。復興まちづくりは住宅の供給やコミュニティ施設の整備だけでは不十分で、この失われた生活世界の再建にあるとわれわれは確信している。



お手伝いします

神戸まちづくり研究所
業務内容

研究所の具体的な事業内容は以下の3点に要約できる。

- (1) まちづくりに関する調査研究と政策提言
- (2) 震災復興に関わる研究グループやNPO ネットワークに対する支援
- (3) まちづくりや地域活性化を促進する事業、さらに収益事業として出版やイベント関連商品の開発も考えられる。

他方、神戸復興塾は「現場の知」を重視する専門家集団として、また義侠心に富む行動集団として今後も活動を続ける。新しいアイデアを着想し、誰も試みた例のない企画に取り組む復興塾のベンチャー精神を生かしつつ、まちづくり研究所は確固たる人的財源基盤のもと、まちづくりの啓発普及と支援活動を展開する。